

商店街からはじめる食品ロス削減

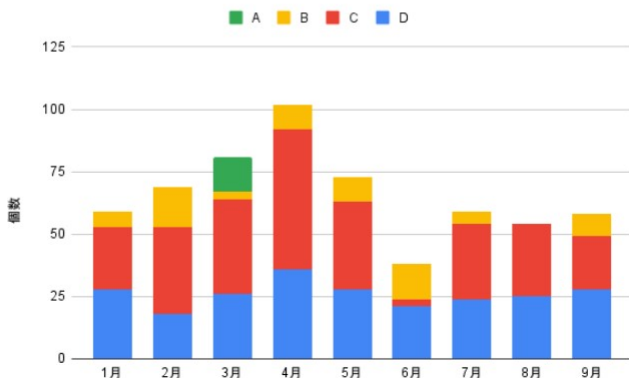
大阪大学もったいないーと

01 目的・背景

- ・身近な食品ロスを減らす
- ・まだ食べられるのにもう売ることができない商品を、捨てるのではなく一人でも多くの人に食べてもらう
- ・小売りでの食品ロスの課題に向き合う
- ・商店街の活性化、地域の人々と学生との交流

03 結果

- ・4店舗から協力を得て実施
- ・取り組み期間(2024.1~2024.9)において、19回の開催で、計615点の商品を販売



02 内容

- ・商店街の小売店から、まだ食べられるのにも関わらず廃棄してしまう予定の商品を各店舗の営業終了後に集める
- ・商店街の一角で、安価な値段で代理で販売する(19時~21時半ごろ)
- ・売上から手数料を差し引いてお店に還元する
- ・月に2回実施



04 お店・お客さんの声

お店

- ・月ごとの量が違う理由はわからないが、お店の月ごとの売り上げと比例している店舗も
- ・「今まで廃棄したり知り合いに配るだけだったものを代わりに売ってもらえるのは助かる」
- ・「定休日の前の日にやってもらえるとありがたい」

お客さん

- ・「何度か来ており、インスタもフォローしている」
- ・「何度か来ているが、目的などは知らなかった」
- ・「たまたま通りかかった」

05 展望

- ・お客さんへの目的の周知
- ・今後、より多くのお店や人を巻き込むような新たな仕組みづくりを目指す
例：石橋以外のお店との協力
毎日開催できるようなアプリの開発
駅前など、より人通りが多い場所で開催